ふるさと大好き！　中野方小学校だより

おかさげ

ふるさとを愛し、
たくましく生きる子

令和２年１２月　第１０号

日常の活動を自信に

恵那市立中野方小学校長　　加藤　秀生

今年度の学校課題として、地域と学校の特色を生かし、以下に示す「共育ビジョン 7」を掲げています。「共育」とは、「地域と共に」「保護者と共に」など、「共に育てる」という願いを込めています。

共育ビジョン７
〈〇までの児童の%〉

１	挨拶	〈97%〉
２	自己肯定感	〈74%〉
３	授業	〈95%〉
４	学力	―
５	歯磨き	〈99%〉
６	ＩＣＴ	〈89%〉
７	ふるさと学習	〈96%〉

〈◎の児童の%〉

１	挨拶	〈66%〉
２	自己肯定感	〈45%〉
３	授業	〈47%〉
４	学力	―
５	歯磨き	〈78%〉
６	ＩＣＴ	〈66%〉
７	ふるさと学習	〈78%〉

今年度は、８月と１２月（予定）に児童のアンケート調査を実施し、指導改善に生かしています。８月の調査では、４段階の自己評価で◎（よくできている）と〇（できている）とした児童は、左の表に示した%となりました。学力については、児童アンケートによる分析はしていません。コロナ禍の中であっても、児童の自己評価は、とても高いポイントでした。

しかし、◎（よくできている）と答えた児童に絞ると、左下の表の数値となり、「やり切った」「できた」という達成感にまでは至っていない児童が多いことが分かります。特に、「自己肯定感」と「授業」のポイントが低いことに課題があります。そこで、授業づくりにおいて、次のような指導改善を行うことで、子どもたちの自己肯定感の向上につなげようと努力してきました。

- 算数では図（絵図、テープ図、線分図等）を書かせ、自力で解決する場をつくる。さらに、複数の考え方にチャレンジさせて思考力を鍛える。
- どの子も伸ばす（苦手な子を支え、得意な子を鍛える）指導の場を位置付ける。　など



複数の考え方を
説明する６年生

さて、１２月５日は、今年度初めての授業参観です。お子さんの元気な姿は勿論、自信をもって自分の考えを話したり、表現したりする姿をご覧いただき、お子さんをほめていただけると幸いです。また、挨拶や歯磨きなどの日常的な活動においても、中野方小学校の子どもたちは、コロナ禍においても、感染予防をしながら頑張っています。

なお、１２月には、今年度２回目の児童アンケート調査と、保護者の皆様による「教育活動に関するアンケート」を実施します。ご協力をお願いします。「授業」と「自己肯定感」の項目において成果が出ていることを期待しています。